



大原台

より身近な
教育センターへ



杜



「啐啄同時」
そつたく

所長 野中久光

「啐」は鶏の卵が孵る時、殻の中で雛が突つく音。「啄」は親鶏が殻を外から突き破ることを表し、両方が一致して雛が生まれることを「啐啄同時」と言う。親鶏の啄が一瞬でも誤ると中の雛の命が危ないため、両者のタイミングが一致することの大切さを説いている。雛鶏を児童生徒、親鶏を教師に準え、教育もこのようにあるべきだと言われている。

さて私が三月まで勤務した専門高校は、農業科・商業科・家庭科・体育科の四学科が設置され、生徒は特色あるカリキュラムを生き生きと学び、進路実現を目指している。近年、高度な資格検定取得を願う生徒が急増し、教師は自らの教科指導力向上を図り、放課後の補習授業等で生徒に還元し、成果を出している。中には、生徒と共に高度な資格試験を受検する教師もいる。「より深く学びたい。」と願う児童生徒に寄り添い一緒に全力投球する、そのような教師を支援する教育センターでありたいと願う気持ちは、まさに「啐啄同時」に相通じるものではないか。

当教育センターは、県教育行政の重点施策等を踏まえ、教職員の資質向上や学校活性化を図る目的で、調査研究、教職員研修、教育相談の充実と併せ、カリキュラムセンター機能の拡充に取り組んでいる。具体的に、調査研究、教職員研修、特別支援教育、情報教育、教育相談、教育情報提供、研究支援の七事業を展開し、年間延べ一万五千人の教職員等への支援を行っている。今年度は、「教學一如」の精神で全所員一丸となって、「より身近な教育センターへ」をスローガンに、教職員一人一人の教育課題解決に向け、さらに積極的な支援を行っていききたい。

1. 調査研究事業

全体研究主題「生きる力を豊かに育てる学校教育の創造」

専門的・実践的な調査研究

各課等の研究テーマ	
企画課	全体研究主題に関する研究及びプロジェクト研究の推進
教職研修課	「教職員のニーズを踏まえた効果的・効率的な研修の構築に関する研究Ⅱ」
教科教育研修課	「学習内容の関連を踏まえた思考力・判断力・表現力の育成に関する研究～『判断基準』に基づく指導と評価を通して～」
情報教育研修課	「情報活用能力の育成に関する研究～児童生徒のICT活用を通して～」
特別支援教育研修課	「特別支援学校における一貫性・系統性のある指導の在り方に関する研究～知的障害のある児童生徒のPDCAサイクルに基づいた授業づくりを目指して～」
教育相談課	「不登校の未然防止と支援の在り方に関する研究～『学校家いーと』等を活用した児童生徒への対応～」
プロジェクト研究	「みんなで取り組み、学び合う授業研究」の進め方

研究提携校との共同研究

学校名	研究主題	公開期日
鹿児島市立山下小学校	自ら考え判断し、表現できる子どもを育てる学習指導の開発Ⅲ	平成25年11月8日(金)
奄美市立宇宿小学校	学年別における模式国語科学習指導の充実～「書くことの指導」を通して～	平成25年11月12日(火)
鹿児島市立吉田南中学校	思考力・判断力・表現力を育成する学習指導	平成25年10月18日(金)
県立松陽高等学校	個々の生徒の学力向上と進路実現を目指す授業改善～基礎的・基本的な知識・技能の習得と活用を図る学習指導～	平成25年11月6日(水)
県立出水養護学校	子ども一人一人の自立と社会参加に向けた指導方法の研究～児童生徒の美徳に応じた効果的な指導の実践的研究を通して～	平成26年2月14日(金)

平成25年度調査研究発表会

期日	平成26年1月31日(金)
会場	県総合教育センター
全体会	・調査研究の概要説明
	・プロジェクト研究の発表
分科会	・研究発表 (情報教育研修課、特別支援教育研修課)
	・調査報告(教職研修課)
	・8分科会(国語科、社会・地歴公民科、算数・数学科、理科、外国語活動・外国語科、情報教育、特別支援教育、教育相談)



平成24年度調査研究発表会

大学との連携 ・鹿児島大学教育学部 ・鹿児島国際大学

研究協力員の実践研究 県内の教員の中から委嘱された32人の研究協力員が、所員と協力しながら実践研究を進めています。

研究成果の提供 ・教職員研修会等での活用
・指導資料の発行
・研究紀要の発行
・調査研究発表会の開催

2. 教職員研修事業

悉皆研修(対象者全員)



フレッシュ研修
「接遇について」

- ・経年次別研修
- ・職務別研修



経験者教頭研修会
「学校組織マネジメント演習」

希望研修

<専門研修>

- ・短期研修講座
(本年度133講座開設)
- ・土曜講座
(本年度約150講座開設予定)
- ・中学校免許外教科担任教員等研修会
- ・生徒指導力向上プログラム



短期研修講座「学びのつながりを重視した小中学校家庭科講座」

<課題研修>

- ・長期研修
- ・継続研修(高等学校情報教育継続研修)

裏面も御覧ください!

3. 特別支援教育事業

調査研究・各種研修



特別支援学校級等新任担当教員研修会(通級指導教室)

本年度は、昨年度に引き続き、特別支援学校における一貫性・系統性のある指導の在り方について、現状と課題を明らかにしながら、知的障害のある児童生徒のPDCAサイクルに基づいた授業づくりを目指した研究をしています。

また、悉皆研修や希望研修等で、特別支援教育に関する研修講座を開設しています。



※ 来所相談は、正門を入れて、左側奥の特別支援教育研修棟で行います。

電話相談・来所相談

自閉症、知的障害、発達障害等の教育相談、就学指導等に関する支援を行っています。

【電話相談・来所相談】 TEL: 099-294-2820
月曜日～金曜日(年末年始・祝日を除く)
8:30～17:00(来所相談は要予約です。)

教職員の資質向上と学校の活性化を図る7つの事業

～未来を担う子どもたちに寄り添う教職員を全力でサポートします!～

4. 情報教育事業

調査研究・各種研修

本年度は、昨年度に引き続き、情報社会に生きる児童生徒の情報活用能力育成のために教科等において意図的・計画的にICT活用の場面を取り入れ、教員のICT活用指導力向上等の研究をしています。

また、悉皆研修や希望研修等で、情報教育に関する研修講座を開設し、学校現場に生かせるように努めています。



高等学校情報教育継続研修

情報教育研修システムの管理運用及び活用促進

Webサイトには、情報モラルの指導や、ICT活用についての最新の情報を提供しています。また、「テレビ会議システム」による情報提供や各研修での指導助言も行っています。

「教育ネットがごしま」はインターネットを通じて、研究・研修を支援します。



短期研修講座「高等学校で取り組む情報教育推進講座」

5. 教育相談事業

調査研究・各種研修

本年度は、不登校の未然防止と支援の在り方について、「**学校楽しいと**」等を活用し、児童生徒一人一人に対応したチーム支援や関係機関との連携の促進を図る研究を行っています。

また、悉皆研修や希望研修等で、教育相談や生徒指導に関する研修講座を開設し、教職員の生徒指導力向上を支援しています。



電話相談の様子



※ 来所相談は、正面建物左側の第1研修棟で行っています。

いじめ、不登校、交友関係等の相談を行っています。

電話相談・来所相談

【来所相談】 月曜日～金曜日(年末年始・祝日を除く)
TEL: 099-294-2200(要予約 8:30～17:00)
【電話相談】 かがしま教育ホットライン24(24時間可)
TEL: 0120-783-574(フリー) 0570-0-78310(全国統一)
099-294-2200(直通、携帯電話接続可)

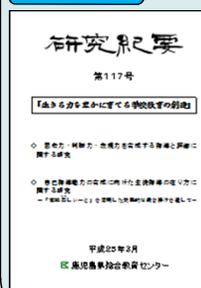
6. 教育情報提供事業

指導資料

Webサイトからダウンロードすることができます。また、当教育センター内に「**玄関ロビー**」や「**大原台講堂**」等に「**指導資料コーナー**」を設けています。御自由にお取りください。今年度は4月に17本を掲載しています。(年間36本)



研究紀要



Webサイト

随時更新しています。



http://www.edu.pref.kagoshima.jp

7. 研究支援事業

所員派遣

学校等からの要請により、各教科・科目や生徒指導・教育相談、特別支援教育等に関する校内研修会や授業研究会に所員を派遣し、職員の資質の向上や学校教育の活性化を支援しています。



授業研究サポート事業
南薩教育事務所

授業研究サポート事業

授業研究の活性化を目指す学校の支援や授業研究に関する研修会等を行っています。

来所研究

当教育センターへの来所者に対して、研究・研修への指導助言を行うを通して、具体的なニーズに応じて支援を行っています。

文書・電話等による支援

文書・電話やWebサイトでの質問等を受け付けています。

【平成24年度の実績】

所員派遣	494件
来所研究	78件
文書・電話等	404件

【問合せ】

TEL: 099-294-2312
(企画課)

授業研究サポート事業

2年目！

みんなで取り組み学び合う授業研究を目指し、平成24・25年度に要望のあった行政機関や学校を対象にした事業です。

昨年度

行政機関…10機関、小学校…4校、中学校…3校、県立学校…1校



垂水市教育委員会



枕崎市立桜山小学校



始良市立加治木中学校



県立大島養護学校

アンケートから

- ・校内での研修会で場面にに応じて活用させていただいています。活性化しました。
- ・多様な意見が視覚的に反映されて分かりやすかったです。 ・授業研究のイメージが180度変わりました。
- ・「授業者のための授業研究」ではなく「自分のための授業研究」という視点になれました。
- ・今年度初めて研修係になりました。授業研究の行い方や方向性が見えたことが嬉しく思います。
- ・話し合う内容が焦点化されてよかったです。改善策も一人一人の意見を反映することができました。
- ・これまでの授業研究では、授業者の立場は何を指摘されるかと緊張の思い出しかありませんでしたが、今回は全員で創り上げるものという意識で臨めて、気持ちが楽になりました。 ・CDを活用します。
- ・ワークショップ型の授業研究を1学期に取り入れました。多様な少数意見も引き出され、研修に広がりが見られました。 ・「ミニカード」を自校化して、複式対応のものを作りたいです。

今年度

行政機関…10機関、小学校…3校、中学校…1校、県立学校…2校

今年度も、上記の機関や学校、土曜講座等でさらにパワフルに授業研究サポート事業に取り組んでいます！

生徒指導力向上プログラム

NEW!

生徒指導上の喫緊の課題を解決するため、時代の変化に対応した教職員の生徒指導力の向上と指導体制の一層の充実を図るために本年度から実施する事業です。これまで不登校対策や管理職を対象とした生徒指導に関する講座を実施しました。



6/25, 26 生徒指導管理職講座の一場面



アンケートから

～不登校対策推進講座～

- ・不登校対策への初期対応の進め方、チーム支援の実際等、充実した研修でした。
- ・医療現場から見た不登校児の様子や問題点等も大変参考になりました。
- ・カウンセリング等について改めて学べて良かったです。

～生徒指導管理職講座～

- ・本校に在籍する児童や保護者を想起しながら臨むことができる研修でした。
- ・管理職としての今日の課題を捉えながらの実践的で有意義な研修でした。
- ・具体的な事例や情報交換等も現場に生かしたいです。

「学校楽しいと」(小学校1年生～3年生用から高校生用まで)をぜひ御活用ください!

Webサイト「教育相談」からダウンロードできます。

学校楽しいと
(小学校4年生～
小学校6年生用)

学校楽しいと
— 小学校 4年生～6年生用 —



学校楽しいと
(中学生用)

学校楽しいと
— 中学生用 —



「学校楽しいと」は、子どもの学校適応感を客観的に把握することができる質問紙のことです。

<適応感の観点>

- 1 友達との関係
 - 2 教師との関係
 - 3 学習意欲
 - 4 自己肯定感
 - 5 心身の状況
 - 6 学級集団への適応感
- ※ いじめの項目

The more I learn, the more I don't know.
The more I don't know, the more I want to learn.
「学ぶほど、分らなくなる。分らなくなるほど、学びたくなる。」(アルバート・アインシュタイン)